

「占冠村まち・ひと・しごと創生総合戦略」推進状況について

村では、人口減少の克服と地域の活力を取り戻すため、平成27～31年度を期間とする戦略を策定し、4つの基本目標に沿って取り組んでいます。平成29年度末の達成状況などを紹介します。

＜基本目標 1. 地方における安定した雇用を創出する＞

数値目標：地域での就業者数を延べ10人増（平成32年）とする。
達成値：2人

主な施策	項目	目標	達成値
森林を活用した企業・人材の育成	木質バイオマスエネルギーの拡充による新規雇業者数	5年間で5人	2人
食や観光など地域資源を活かしたビジネスモデルの確立	地域資源を活用した新規雇業者数	5年間で2人	0人
人材の確保・育成	新規就農者支援を利用した人	5年間で延べ3人	2人
	地域おこし協力隊	5年間で延べ10人	8人

○林業の六次産業化

森林資源の持続的管理や産出される木材の有効活用を図るため銘木のデータベース化を行うとともに、メープルシロップやエゾシカ、木質バイオマスなどの「森の恵み」を活用したビジネスの確立をめざす

○木質バイオマスエネルギーの利用促進

薪ストーブ等の設置や薪の購入への補助を通じて、村内の薪需要を促進するとともに生産体制を確立

＜基本目標 2. 地方への新しいひとの流れをつくる＞

数値目標：移住ワンストップ窓口を利用した転入者数を5年間で20名以上とする。

達成値：12人

主な施策	項目	目標	達成値
交流人口の拡大	「ちょっと暮らし」利用者数	5年間で100組	49組
	都市との連携事業の実施	5年間で5回	2回
U・Iターン等の促進	ふるさと納税額	5年間で1億円	4,720万円
	空き家バンク延べ登録件数	25件	12件
	地域での転入者数	5年間で20名以上	12人

○トママ地区子育て世帯移住促進事業

トママ地区における人口減少対策として、子育て世帯の定住移住を促進するためトママ地区における移住者の受入体制づくりの方向性を明らかにするための住民ヒアリングやワークショップの開催やクライミング体験を実施

○ちょっと暮らし体験

占冠村での暮らしを体験してもらうことで、知らない土地での不安感などを軽減し、移住定住を促進



<基本目標 3. 若い世代の結婚・出産・子育て>

数値目標：占冠村での結婚・出産・子育て満足度の向上（H31時点で10ポイント上昇）

達成値：5.5点

主な施策	項目	目標	達成値
子どもを産み育てたいという希望をかなえる	放課後子ども教室	29年度2箇所設置	1箇所
住みたい・住み続けたいと思える生活環境を整える	グローバルコミュニケーション事業の実施	年間6回	1回

○グローバルコミュニケーション（国際交流機会）

姉妹都市アスペン市との交換留学の実施、公民館英会話教室の開催、各学校における英語教育指導の支援、コミュニティスクールの一環として、土曜学習「国際感覚を身に付けるプログラム」を実施

国際性豊かな人材の育成、保育園児をはじめ住民の方の語学力の向上、国際交流を通じた他国の多様性を学習

○子育て世帯向け民間賃貸住宅

トマム地区への子育て世帯等の定住・移住に向け、子育て期間中などの家賃助成を行う新築住宅4戸を確保

<基本目標 4. 時代に合った地域づくり>

数値目標：地域愛を持つ中学生の割合を20ポイント上昇（平成31年度）

達成値：3.6点

主な施策	項目	目標	達成値
むらの特徴を生かした生涯学習の推進	自主創造プログラムの活用実績	5年間で60件	30件
集落対策と協働のむらづくり	住民活動推進事業の活用実績	5年間で10件	12件

○ジュニアリーダーキャンプ

昨年8月2～3日にニニウキャンプ場において、北翔大学と子ども会で実施。自然環境を活用した生涯学習の一環として、村内の豊かな自然環境の中で、野外活動を通して、次代を担うリーダーを育成

○自主創造プログラム

「家庭教育講座」や「山菜ワークショップ」など多様なニーズに応えた自主的な生涯学習の機会を提供（29年度8件）

○住民活動推進事業

「山菜市」、「占冠、宮下及び美園地区のボランティア活動」、「占冠神楽」など住民の自発的な活動を支援することにより、協働の村づくりを推進（29年度5件）